

木ごころ通信

NO. 332

令和6年4月号

初体験



寒暖差の厳しい今日この頃、皆様におかれましてはご健勝のこととお喜び申し上げます。先日、久しぶりに旧友と会った時に、山登りの話題になり「自分たちも登山靴を買って一回息子たち夫婦と行ったきり行ってないなあ」と話したところ「今度、ご来光を見に鋸山へ行くけど、一緒に行かない」と誘いがあったので、即答で行くことにしました。

前日は、鋸山麓の宿に夕方入り、温泉に入ってから夕食を摂り早めに就寝しました。朝？夜中の2時に起床、身支度を整え2時半に出発しました。登山道に入るまでは外灯があり、足元も見えていたのですが、入ったとたん辺りは真っ暗闇☁️持参したヘッドライトを灯し、いよいよ登山開始。ところが、いきなり400段の階段が待っていました。登り切ったところで小休止をとり、しばらく平坦な道でホッとしました。

途中、いくつかの分岐点があるので、注意しながら登って行きました。

月明かりがぼんやり闇を照らしていたので、改めて月の明るさを実感しました。

見晴らしの良い場所では、月が海面を照らし幻想的な景色に一同感激しました。

「ガサガサ」との音で一斉にそちらへ、ヘッドライトの明りを向けると目が光と反射して何か動物がいるのがわかりました。

向こうもこちらを見ているようで、3頭くらいの鹿の群か何かだったと思います。

頂上近くで、辺りが少しずつ白くなり次第に赤味を帯びて何とも神々しい気分を味わいながら、日の出を拝みました…と言いたいところでしたが、あいにく前日の雨でモヤがかかり、はっきりとは見られませんでした。

初めて夜の山登りを体験し、普段の生活では得られることが出来ない貴重な体験をさせてもらい、暗闇の中でもたくましく生活をしている動物の姿を見ると、私たち人間も文明の利器ばかりに頼らず、たまには自然に親しみ、謙虚にならなければならないと強く思いました。

(清水)



神里建設株式会社


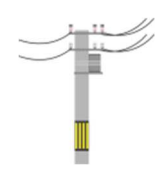

TEL 048(223)8024
FAX 048(225)1699

ホームページ <http://www.kamisato-1972.co.jp>



電気の雑学

今や電気が無いと何もできない世の中になってきていますが、意外に知らない電気のアレコレ！
今月は、そんな電気の色々をクイズ形式にしてみました（´▽`）

- Q1** 壁などに設置されているコンセントの二つの穴をよく見比べると、左右で長さが違います。さて、それはなぜでしょう？ 
- ①差し込んだプラグの抜け落ち防止 ②左右の役割が違うから ③設計ミスがそのまま広がった
- Q2** エネルギー問題は地球規模の課題であり、今、世界ではさまざまな発電方法が研究されています。さて、本当に取り組みが行われているのは次のどれでしょう？
- ①牛のフンで発電 ②馬のヨダレで発電 ③ハムスターの脚力で発電
- Q3** 普段の生活で、ほとんど意識することがない電柱。意識しなくていられるのは、電気工事士の方々がきちんと保全してくれるから。地震や台風などで電柱が倒れたりすると、私たちはたちまち困ってしまいます。さて、私たちの暮らしや社会を支えている電柱は日本全国に何本あるでしょう？
- ①約 18 万本 ②約 500 万本 ③約 3600 万本 
- Q4** 昼も明るいコンビニの電気代は？
昼夜を問わず明るいコンビニエンスストア。照明だけでなく冷凍・冷蔵設備などもあって電気代がかさみそうですが、一体いくらくらいなのでしょう？ 



Q1 ③ 一般的に左の穴は 9 mm、右の穴は 7 mm の長さになっていて、左の長い穴を「接地（アース）側」、右の短い穴を「非接地（電圧）側」と呼びます。その役割を簡単にいうと、右は電気が流れてくる穴、左は電気が帰っていく穴で、最終的に地面に繋がります。穴の長さが違うのは、左右を間違えないよう配線するためです。ちなみに、プラグの左右は同じ大きさです。

- Q2** ① 牛をはじめ、動物の排泄物を使ったバイオマス発電を行う農場などが増えているそうです。主には、動物の糞尿を発酵させて得たメタンガスで電気をつくります。また、牛のゲップは温室効果のガスの一つである「メタン」を多く含んでいるため、地球温暖化の一因となっていますが、逆にそのゲップやオナラで再生可能エネルギーを生み出す研究もあるようです。世界は広いですから、馬のヨダレやハムスターの脚力で電気をつくる研究だって行なわれているかもしれません。
- Q3** ③ 電線類の地中化などによる「無電柱化」が進んでいるのかと思いきや、電柱は毎年数万本も増加しているそうで、現在の総数は約 3600 万本。これは日本にある桜の木とほぼ同じ数だそうです。ちなみに、①の約 18 万本は郵便ポスト、②の約 500 万本は人間の体毛だそうです。
- Q4** 東京都内の平均的な 1 店舗の電気料金は年間で約 334 万円。1 ヶ月に換算すると約 28 万円、1 日だと 1 万円弱ですから、なるほど節電は必須のようです。
(2013 年発行「コンビニ店長のための節電ガイド」東京都環境局都市地球環境部計画調整課より)



補助金制度始まります！

国…子育てエコホーム支援事業

住宅設備機器の交換、断熱改修（窓・外壁など）子育て世帯だけではなく、皆さんが使える制度です！

川口市…川口市住宅リフォーム補助金（川口市にお住まいの方限定）

4/19 より予算額に達し次第終了。

住宅設備機器、内装、外装工事など、一生に 1 回、工事費用の 5%（最大 10 万円）の補助が受けられます！

どちらの補助金申請もお手伝いをさせていただきますので、お気軽にご相談下さい。



毎年、この時季にご紹介致します“こども作文コンクールの入賞作品を、先月から連載させて頂いております第3弾！今回も、孫からお婆ちゃんへの心からの“ありがとう”素晴らしい作品です。

小学5～6
年生の部



身近な働く人へありがとう

長野県 長野市立湯谷小学校 六年 川久保 玲音

僕は一人っ子で、両親は共働きで朝から夜まで働いています。そんな中で、家庭学習や登下校の付き添い、僕の面倒を見るために、祖母は仕事はせず、僕に時間を使ってくれています。

僕は、少し个性的でADHDという障害を持って産まれてきました。そんな僕を祖母はずっとお母さんの代わりに育ててくれています。

お母さんの会社で、コロナが出てクラスターになってしまった時も、僕をコロナから守るために、祖母は自分の家に連れて行って、長い期間、学校外から小学校まで車で通ってくれました。その間も、拘りの強い性格の僕はゲームがしたい一心で、祖母と何度も喧嘩になったり言い合いもしました。そんな時でも、祖母は見捨てずに僕を見守ってくれました。お母さんが手術で数日間の入院になった時も、同じように僕を支えてくれました。

長期休みや、季節的な行事には必ず何処かに連れて行ってくれる祖母が、僕は大好きです。

身近な働く人へのありがとうを作文にする時に、真っ先に祖母の事を思い出しました。働くというと、会社で働いてお金を頂いている人を思い浮かべるけど、僕の為に自分の時間を割いてまで、常に働いてくれる祖母は、今の僕にとっては会社で働いている人達よりも何倍もすごいと思います。

祖母が居なかったら、ここまで成長出来た僕は居なかったと思います。いつもは、恥ずかしくてうまく言葉では伝えられないけれど、ちゃんと伝えたいと思います。

幾久ちゃん（僕は祖母をいつもこう呼んでいます）僕は、衝動が抑えられずに人を傷つけてしまう事があるけど、どうしても頭で思っている事と行動が伴わなくて、我慢できなくて、結果悪い子になっちゃう。だけど、僕が悪い事をすれば、時間がかかっても理解できる様に話をしてくれてありがとう。良い事をした時は、すごく褒めてくれてありがとう。僕を、一番に考えて動いてくれる幾久ちゃんが大好きです。いつもありがとう。

卒業まで後半になりました。暑い中、僕と二人で手をつなぎ歩いた登下校の道、忘れないよ。これからの雪道、転ばない様に僕が幾久ちゃんを支えて歩くから、卒業までよろしく願います。

これからも一緒に、楽しい事を沢山して笑って過ごして行こうね。



季節の情報

田無神社

今年辰年！！知る人ぞ知る「田無神社」の『龍神様』をご存知でしょうか。
都心から離れた場所ですが、5柱の龍神が祀られているパワースポットとしても人気の神社です。
五龍神は、それぞれの方位を守護し、人々の願いを隈なく聞き届けてくれる存在との事。
創建は鎌倉時代で、1600年代に現在の場所に移ったと言われています。一の鳥居より本殿まで続く表参道を龍神の道、また、龍神池などあちこちで龍にまつわる名前が付けられているようです。
境内マップを見ながら散策してみるのも良いのではないのでしょうか。
毎年4月中旬頃より、田無神社境内に地上高15メートルの檜（ヒノキ）作りの竿で、5匹の鯉が天空に向かって舞い上がり春の爽やかな薫風にたなびくようです。
外出しやすい季節となってきますので、足を延ばしてみたいはいかがでしょうか。

5柱の龍神様(金龍、黒龍、白龍、赤龍、青龍)

赤龍神 (勝負運・成績向上・南方の守護)



白龍神 (良縁・金運向上・西方の守護)



金龍神 (運氣向上・幸福招来・中央の守護)

《住所》東京都西東京市田無町3-7-4
《最寄り駅》西部新宿線「田無駅」北口から徒歩約6分
《TEL》042-461-4442 (田無神社社務所)

🍀 神社やお寺に龍があるのは、昔から龍神が水を司る神様として崇められてきたからだと考えられていたそうです。火災除けに社殿を飾る彫刻となっているのもそういった意味があるようです。



5月5日は、「端午の節句」皆さんご存知の通り、男の子の誕生を祝うと共に、健やかな成長を祈る行事として普及して来ましたが、1984年に国民の食事津「こどもの日」(子供の人格を重んじ、こどもの幸福をはかると共に、母に感謝する日)として改めて制定されました。

また、令和6年5月5日は、夏の兆しが見え始める『立夏』にあたるようです。いよいよ暑さ本番ですね😓

菖蒲湯(しょうぶゆ)

端午の節句は、菖蒲が咲く季節。菖蒲は強い解毒作用があり、血行を良くし、打ち身にも効く薬草として古くから珍重されてきました。5月5日には湯船に菖蒲を入れて、菖蒲湯を楽しんでみてはいかがでしょうか。
他にも、剣のかたちをした菖蒲の葉を軒先につるしたり、根っこは刻んでお酒に入れたり菖蒲の使い方はさまざまのようです。



粽(ちまき)

もち米などの粉を練り、笹や茅の葉などで包んで蒸して作った餅です。このちまきは、中国の王族・屈原(くつげん)の逸話に由来しています。
政争に敗れた屈原は、5月5日に汨羅江(べきらこう)に身投げしました。
その霊をまつるために生まれたのがちまきであるといわれます。
この故事が日本に伝わると、厄除けの儀式を行う端午の節句にちまきを供えるようになりました。



柏餅(かしわもち)

柏の木は、葉をつけたままで寒い季節を越します。新芽が出るころに、やっと古い葉が落ちることから、世代交代がうまくいくことになぞらえて、柏の葉で包んだ餅は「子孫繁栄」の縁起担ぎを願って食べられるようになりました。

